

商工部新産業・技術振興課
(福岡水素エネルギー戦略会議 事務局)
内線 3736,3735
直通 092-643-3448
担当 丸林, 平野, 田代

「福岡水素戦略 (Hy-Lifeプロジェクト)」社会実証第二弾

「水素ハイウェイ」 始動！

～ 九州大学・北九州市東田^{ひがした}の2箇所で水素ステーションが稼働 ～

福岡県・福岡水素エネルギー戦略会議¹では、「環境にやさしい水素エネルギー社会²」を実現するため、九州大学を中核とした世界最先端の研究開発、「福岡水素タウン³」を始めとした先導的な社会実証、全国唯一の水素人材育成、水素エネルギー新産業の育成・集積、世界最先端の水素情報拠点の構築を柱とした『福岡水素戦略 (Hy-Lifeプロジェクト)』を展開しています。

9月18日(金)、「九州大学水素ステーション(福岡市西区元岡)」「北九州市水素ステーション(北九州市八幡東区東田^{ひがした})」の工事が完了し⁴、「福岡水素戦略」に基づく社会実証第二弾「水素ハイウェイ⁵」が始動します。

同日、北九州水素ステーションでは、開所式を開催します。(添付資料1)

九州大学水素ステーションは、「国立大学法人九州大学」「九州電力株式会社」「大陽日酸株式会社^{たいようにっさん}」「株式会社キューキ」と共同して整備した、水電解方式⁶の水素ステーションです。今後、二酸化炭素を全く発生しない日本初の次世代型ステーションを目指し、太陽光発電を利用した水素製造の研究開発を行います。

北九州水素ステーションは、「岩谷産業株式会社」「新日本製鐵株式会社」「新日本石油株式会社」と共同して整備した、製鉄所から発生する副生水素⁷をパイプライン供給する次世代型水素ステーションです。水素をパイプライン供給するのは日本初の取り組みで、世界でも3例目です。

今後、両ステーションでは、独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) と連携して、水素供給並びに普及啓発活動を行い、次世代自動車として期待される燃料電池自動車・水素エンジン車の早期実用化を目指した実証走行を推進します。

北九州市東田地区では、「水素供給・利用技術研究組合⁸」と連携して、北九州水素ステーションを中核とした次世代型水素エネルギーモデル都市「北九州水素タウン⁹」の整備にも着手します。

環境にやさしい水素エネルギー社会を世界に先駆け実現するため、今後とも「福岡水素戦略(Hy-Lifeプロジェクト)」を強力に推進します。

1：福岡水素エネルギー戦略会議

水素の製造、輸送・貯蔵から利用までの一貫した研究開発や社会実証、全国唯一の人材育成などに取り組む全国最大の産学官連携組織（2004年8月発足）。2009年9月1日現在、552企業・機関が会員として参加。

会長は、新日本製鐵株式会社 黒木 啓介（くろき けいすけ）代表取締役副社長。

2：水素エネルギー

「水素」と「酸素」を反応して得られるエネルギー。

生成物は「水」のみで、利用段階で二酸化炭素を全く発生しないことから、地球温暖化対策の切り札として期待。

3：福岡水素タウン

家庭用燃料電池を集中的に設置する世界最大の「水素タウン」。

新日本石油株式会社、西部ガスエネルギー株式会社と共同し、前原市の「南風台(みなかぜだい)団地」「美咲(みさき)が丘団地」の150世帯を対象に、LPガスを燃料とする家庭用燃料電池を平成20年度中に設置。約4年間にわたり省エネ効果などを検証。

家庭用燃料電池を100世帯を超える規模で集中設置するのは、世界初の取り組み。

4：水素ステーション

独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が実施中の「水素・燃料電池実証プロジェクト（JHFCプロジェクト）」において、12ステーション（首都圏9，中部圏1，関西圏2）が実証運転中。

今回、福岡における2ステーションの稼働により、14ステーションが実証運転。

5：水素ハイウェイ（添付資料2）

福岡～北九州間において、次世代自動車として期待される燃料電池自動車・水素エンジン車の実証走行を可能とするため、「九州大学水素ステーション（福岡市西区元岡，九州大学伊都キャンパス内）」「北九州水素ステーション（北九州市八幡東区東田）」を整備。

「水素・燃料電池実証プロジェクト（JHFCプロジェクト）」と連携して、水素供給並びに普及啓発活動を実施。

国等と連携して、将来的には、東京への延伸を目指す。

6：水電解方式

水に電気を流し分解することにより、「水素」と「酸素」を得る方法。

7：副生水素

製鉄所や苛性ソーダ工場などから副次的に得られる水素。安価で有効活用すべき水素供給方法として注目。

8：水素供給・利用技術研究組合

水素供給事業と燃料電池自動車（FCV）普及を目指す民間各社により、平成21年7月31日に設立。（参加企業13社（平成21年8月4日現在））

社会実証試験を通じて、「社会的受容性の向上」と「事業成立のための課題解決」を行うことが目的。

9：北九州水素タウン（添付資料3）

北九州水素ステーションを中核として、北九州市八幡東区東田に本年度から整備予定の次世代型水素エネルギーモデル都市。

水素パイプラインによる水素供給技術の実証、純水素型定置用燃料電池の面的運転実証、純水素を燃料とする各種アプリケーションの実証を予定。

水素供給・利用技術研究組合が実施する経済産業省補助事業「水素利用社会システム構築実証事業」と連携。

北九州水素ステーション開所式

1. 日時 平成21年9月18日(金) 14:30~15:20
2. 場所 北九州水素ステーション(北九州市八幡東区東田)
3. 主催者 福岡水素エネルギー戦略会議, 福岡県, 北九州市
新日本石油株式会社, 岩谷産業株式会社, 新日本製鐵株式会社

4. 次第 開会

主催者挨拶

福岡県	あそつ 麻生	わたる 渡	知事
北九州市	きたはし 北橋	けんじ 健治	市長
新日本石油(株)	まつむら 松村	いくとし 幾敏	代表取締役副社長執行役員
岩谷産業(株)	うえは 上羽	ひさと 尚登	専務取締役
新日本製鐵(株)	めいが 明賀	たかよし 孝仁	執行役員 八幡製鐵所長

来賓挨拶

九州経済産業局	きつたか 橋高	きみひさ 公久	局長
---------	---------	---------	----

来賓紹介

テープカット

水素充填デモンストレーション

福岡県	あそつ 麻生	わたる 渡	知事
北九州市	きたはし 北橋	けんじ 健治	市長

閉会

5. その他 自動車でお越しの場合は、北九州水素ステーションの前の「ホームプラザ ナフコ 八幡東店」に駐車をお願いします。
(詳細は現地警備員の指示に従ってください。)



福岡水素戦略 (Hy-Lifeプロジェクト) 社会実証プロジェクト第2弾
「水素ハイウェイ」の構築

北九州市(東田地区), 福岡市(九州大学)の2カ所に水素ステーションを整備し、
 北九州～福岡間に「水素ハイウェイ」を構築。



【九州大学水素ステーション】
脱化石燃料に向け
再生可能エネルギー利用を目指した
オンサイト型水素ステーション

【協働企業】


- ・株式会社キューキ
- ・九州大学
- ・九州電力株式会社
- ・大陽日酸株式会社


【建設予定地】
 福岡市西区元岡
 (九州大学伊都キャンパス内)

【本格稼働】
 平成21年9月18日

【水素製造方法】
 水電解方式

【充填圧力】
 35MPa





【北九州水素ステーション】
日本初！
水素をパイプラインで直接供給する
オフサイト型水素ステーション

【協働企業】


- ・岩谷産業株式会社
- ・新日本製鐵株式会社
- ・新日本石油株式会社
 (旧九州石油株式会社)


【建設予定地】
 北九州市八幡東区東田
 (エネルギーモール八幡東田内)

【本格稼働】
 平成21年9月18日

【水素製造方法】
 製鉄副生水素

【充填圧力】
 35MPa

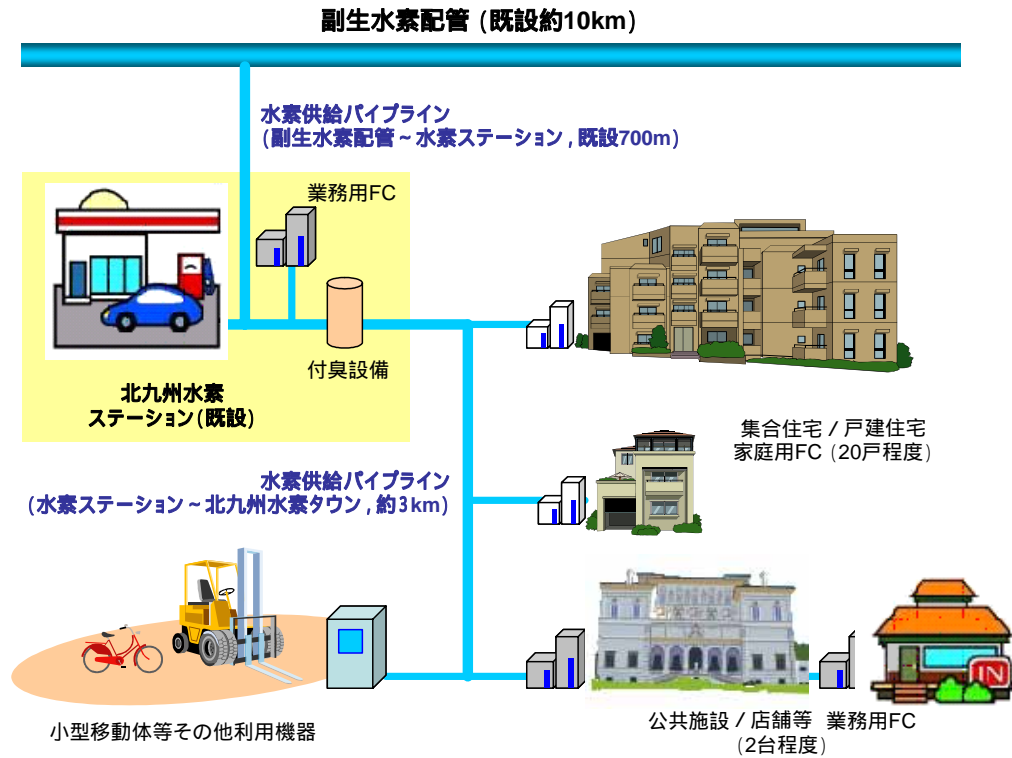




福岡水素戦略 (Hy-Lifeプロジェクト) 社会実証プロジェクト第3弾
 「北九州水素タウン」の整備

北九州水素ステーションを核に、水素エネルギー社会を可視化する「モデル地区」を構築。

社会実証により、水素の社会受容性を向上させるとともに、規制再点検・基準標準に必要な各種データを取得。



北九州水素ステーション(北九州市八幡東区東田) 周辺図



福岡水素エネルギー戦略会議

Fukuoka Strategy Conference for Hydrogen Energy

福岡水素戦略

～Hy-Life プロジェクト～

福岡水素戦略の推進組織

Promotion Organization of Fukuoka Hydrogen Strategy

福岡水素エネルギー戦略会議

設立 平成16年8月3日
顧問 麻生 渡 (福岡県知事)
有川節夫 (国立大学法人九州大学総長)
北橋健治 (北九州市長)
橋高公久 (九州経済産業局長)
羽矢 惇 (新日鉄エンジニアリング株式会社 代表取締役社長)
吉田 宏 (福岡市長)
会長 黒木啓介 (新日本製鐵株式会社 代表取締役副社長)
副会長 上羽尚登 (岩谷産業株式会社 専務取締役)
松村幾敏 (新日本石油株式会社 代表取締役副社長執行役員)
村上敬宜 (九州大学 理事・副学長)
渡邊浩之 (トヨタ自動車株式会社 技監)
幹事会 会員中核企業などで組織
事務局 福岡県商工部新産業・技術振興課



福岡水素戦略の全体概要

Whole of Fukuoka hydrogen strategy outline



福岡水素戦略 (Hy-Life プロジェクト) に協働いただける企業・機関等を求めています!

問い合わせ先

福岡水素エネルギー戦略会議事務局 (福岡県商工部新産業・技術振興課)

〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号

TEL : 092-643-3448 ・ FAX : 092-643-3436

E-mail : info@f-suiso.jp URL : http://www.f-suiso.jp

福岡水素戦略

～Hy-Life プロジェクト～

Hydrogen Highway

水素ハイウェイ

水素エネルギー社会を見据えた次世代型ステーションを整備し、燃料電池自動車・水素エンジン車が自由に走行できる環境を提供します。

平成21年9月 ステーション運連開始

九州大学水素ステーション

(再生可能エネルギーを利用した水電解方式)

[協働企業・機関]

九州大学、九州電力(株)、大陽日酸(株)、(株)キューキ

北九州水素ステーション

(副生水素のパイプライン供給)

[協働企業]

岩谷産業(株)、新日本製鐵(株)、新日本石油(株)



九州大学・水素ステーション

水素ハイウェイ



前原市



水素エネルギー製品研究試験センター (HyTReC)

中小・ベンチャー企業が水素エネルギー新産業へ参入できる土壌づくり

最新研究成果を産業界へ移転するため水素関連分野に特化した試験研究施設を設立しました。

Hydrogen Town

水素タウン

水素エネルギー社会を具現化するモデル都市として、家庭用燃料電池システムを集中的に設置する世界最大の「水素タウン」を整備します。

平成21年2月 福岡水素タウン完成 (150世帯)

[場所] 前原市南風台 (みなかぜだい) 団地
美咲が丘 (みさきがおか) 団地

[協働企業]

新日本石油(株)、西部ガスエネルギー(株)

平成21年度 北九州水素タウンの整備



福岡水素タウン1号機設置記念式典

Model district

各種モデル地区

[小型移動体等]

水素ステーションを核に、フォークリフトや車椅子、さらには携帯用燃料電池(パソコン・携帯電話etc)など、早期の実用化が期待される多様な製品の実証活動を積極的に展開します。



産業技術総合研究所・水素材料先端科学研究センター



九州大学水素エネルギー国際研究センター

世界的研究機関を中核とした先端的研究開発を九州大学伊都キャンパスにおいて推進

水素脆化の基本メカニズムを解明するとともに、水素脆化を大幅に減少する特別な熱処理方法を発明しました。

※水素脆化：水素ガス環境下で金属疲労が早まる現象

福岡水素戦略 (Hy-Life プロジェクト) に協働いただける企業・機関等を求めています /

問い合わせ先

福岡水素エネルギー戦略会議事務局 (福岡県商工部新産業・技術振興課)

〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号

TEL : 092-643-3448 ・ FAX : 092-643-3436

E-mail : info@f-suiso.jp URL : http://www.f-suiso.jp